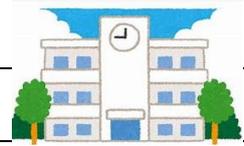


学校評価結果について

広陽小学校
令和5年2月吉日

向春の候、保護者の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。さて、学校では、子どもたち一人一人が成長し、よりよい学校とするために、児童アンケート・保護者アンケート・教員アンケートを基に学校評価を行っています。
後期の結果と改善策、保護者・学校関係者評価委員の皆様からいただいたご意見をお知らせいたします。



○アンケート結果より

	重点取組	指標・評価観点	評価方法	評価結果	分析と改善策
				後期	
学校経営	・子どもたちは学校で楽しく過ごしている。	・安心して学ぶことができる居場所づくりをしている。 ・安心して学んでいる。	教職員アンケート 児童アンケート 保護者アンケート	96.7%A 92.3%A 87.7%A	質問「嬉しかったこと・楽しかったことはどんなことですか」に対し、「テストで100点をとったこと。自分は苦手だったけど、100点をとれました。これからも家で漢字の練習を頑張りたいです。」「運動会の団演が楽しかった。2年前から団演がなくなっただけ、久しぶりにできて楽しかった。」「みんなでサッカーをしていて、プラスの声掛けをしたり、応援したりした時です。頑張ろうという気持ちになって楽しいです。」等の回答が見られました。 3学期も安心して学び、わかる授業を実施すること、コロナ禍ではありますが、十分な配慮の下、人と関わることを大切にしながら指導を行っていきたくと考えます。
学習（進んで伝え合う子）	・ねらい(育みたい資質・能力)を明確にした授業を行っている。	・ねらいに合わせた児童の具体的な姿を設定している。 ・児童が学びや変容を自覚できるように、まとめや振り返りを書く場を設定したり、活用問題の場を設定したりしている。	教職員アンケート 児童アンケート 保護者アンケート	96%A 91.4%A 83.8%B	ねらいや授業後の目指す児童の姿を意識して授業を行うことはできていました。しかし、授業後半では、活用問題まで十分取り組めなかったり、自分の言葉でわかったことを書いたりするまでには至っていません。そのため、子どもの「わかった！」「できた！」という達成感にまではつなげられていないと考えられます。 学年会での教材研究では、引き続き重点単元を中心につけたい力や目指す児童の姿について共通理解を図り、授業を行っています。また、子どもたちが主体となって自分たちの言葉でまとめ、ふりかえり、活用問題に取り組む場面を確実に設定し、児童の「わかった！」「できた！」という達成感や変容が自覚できるよう取り組んでいきます。
	・家庭学習の具体的な学習方法を具体例を挙げながら教えている。	・家で計画を立てて勉強をしている。	教職員アンケート 児童アンケート 保護者アンケート	87.5%B 86.7%B 78.3%C	ゲームや動画の視聴等により、生活習慣が乱れているお子さんも見受けられます。 「おうちでバッチリ週間」の取り組みをきっかけに、放課後の時間の使い方を考えるように指導します。家庭学習の内容や分量については、学年でよく話し合い、「学年×10」に収まるようにします。また、テストの結果などを活用して、自分が力を入れるべき学習内容を家庭学習に取り入れられるような働きかけをしていきたいと考えます。
生徒指導（思いやりを形で表す子）	・自分から目を見て笑顔で明るい声で友だちや先生や地域の方、来校者に挨拶をする。	・先生や地域の方、来校者にあいさつをしている。 ・自分から明るくあいさつしている。	教職員アンケート 児童アンケート 保護者アンケート	83.3%B 86.2%B 82.8%B	自分から目を見てあいさつができる子が増えました。一方で、集団登校時等、地域の方へのあいさつがなかなかできていないという実態もあります。 全校朝会等、折に触れ「あいさつの目的・意味」を伝えていきます。例えば、不審者に会った時や災害時において、地域の方との関係性を築くことで助け合うことができる等の動機づけを働きかけるようにしていきます。
	・子どもたちは、いじめられたり無視されることなく、安心して過ごしている。	・子どもとの関係づくりに努めている。 ・学年、チームで連携していじめ問題の解決を図っている。	教職員アンケート 児童アンケート 保護者アンケート	93.4%A 90.8%A 86.9%A	アンケートの聞き取りを丁寧に行い、内容を学年で共有したり、未然防止の視点のもとアンケートを学校全体で把握すること、その結果を月ごとの点ではなく、学期を通じて線で見えるようにすることで心の状態を把握するように努めてきました。しかし、10人に1人が安心していないという状況は重く捉えています。 3学期以降はさらに、現在の「いじめ」の定義「いじめは誰にでも、どこにでも起こるものだ」と認識し、未然防止に注力しながら、もしそれが起きてしまった際は、早期対応で重大事態にならないようにしていきます。2学期より始めたふわふわ言葉の取組をさらに進めることで、児童の安心感をより大きなものにしたいと考えます。
特（たく）別（り）しく健康（けん）康（こう）やし（し）体（たい）か（か）す（す）育（いく）で（で）	・目標に向かってのびのび運動する。	・体育の時間に全力で取り組めるように目標を提示している。 ・目標に向かって一生懸命体を動かしている。	教職員アンケート 児童アンケート	100%A 94.6%A	教職員・児童共に評価向上が見られました。日頃から目的をもって体育的活動を行うことができていた成果であると考えます。今後も児童の頑張る過程を認める声掛けを大切にしながら、指導を継続していきます。
地（ち）域（いき）・保護（ほ）者（しや）	・各種便りやホームページなどを通じて、保護者への情報発信に努める。	・各種たより(学校便り・学年便り・保健便り・図書館便り・給食便り)を月1回出している。 ・学年便りに写真を掲載している。 ・ホームページは月1回更新している。	教職員アンケート 児童アンケート	76.1%C 83.3%B	3学期から、各学年でHP担当を再度確認し、学年行事のニュース等を写真と簡単な文で載せ、月1回更新を目標に進めていきます。

○保護者(自由記述)より

- ・毎朝の健康観察を8:00締め切りでなく、8:30までに延長してほしいです。
- 日頃から、朝の健康観察(検温)ご協力いただきありがとうございます。
朝の健康観察の情報は、各クラスの朝の会(8:20~)に間に合うように送信しております。朝の大変お忙しい中ではありますが、引き続き健康観察のご協力をお願い致します。
- ・お便りで学校行事を知ることが多いが、年間で決まっているものは先に教えてもらいたい。
- 学校行事(案)については、年度当初行われるPTA総会資料に記載してありますのでご確認ください。
尚、学校行事等については変更もありますので、ご了承下さいますようお願い致します。

○学校関係者評価委員会より

- ・子どもたちが集中して静かに学習に取り組んでいた。
- ・校内ですれちがった時、挨拶をしてくれたり、会釈してくれたり嬉しかった。
- ・「安心・安全な学校」のため、確かな学力を付けることが大切。地域とスクラムを組んで教育を活性化させるためにも、PTAが学校と地域の橋渡しをし、地域の人材開発などさらに行動連携を進めてほしい。